

觀智院本類聚名義抄和音分韻表

沼本克明

一序

二 觀智院本名義抄和音の表記体系
三分韻表

一序

先に筆者は、觀智院本名義抄の「和音」は、函書寮本名義抄の「真興音」と介在させて、大般若經読誦音に還元し得る部分と觀智院本そのものの増補時表に於て編者に依つて増補された部分との複層に依つて構成されている事と論じた。従つて、その「和音」の中には大般若經本文読誦に混入された非興音系字音の取込まれた部分も存するのであるが、その様な性格を十分承知した上でこの和音を取扱うならば、依然として我が國漢字音としての吳音系字音究明の有効な依り所となし得るものである。分量上から言

つても、亦これが字書という形を取つたものに收められてゐるが故に字音吳等の具体相に於て免れ得なかつた連音上の諸変化は蒙らずに古い形が伝誦されてゐる吳は重視されるべきである。

觀智院本名義抄和音に依つて知られる吳は多く存するが、本稿ではその基礎資料として整理した分韻表を示す事としたい。

二 觀智院本名義抄和音の表記体系

觀智院本の和音は函書寮本のそれへ多く真興音とされたものゝと比較してみると、削除されたもの、増補されたものという相違の他に、その表記法が大いに改められてゐる。即ち独自の表記体系に依つて統一されようとした跡を見て取る事が出来る。勿論

図書寮本の如きものを参照して以上、そのもの形が残されている事も当然である。ここでは、どのような部分が残されたか、どの様な表記体系が採用されたのかを考えておきたい。

(1) 漢字一字の類音字表記の位置

これに該当する例は次の諸例である。(内は云韻韻目である。)

- 弓船 (東) 稷福 (屋) 縮宿 (屋) 條宿 (屋) 睦木 (屋) 鍾種 (鍾) 踊用 (鍾) 巷向 (江) 剥薄 (寛)
- 卓宅 (覚) 啄託 (覚) 痺魚 (支) 皆之 (支) 皆之 (支) 搗鬼 (支合) 羸類 (支合) 顛葉 (脂) 嗜志 (脂) 龜鬼 (脂合) 揆鬼 (脂合) 熙基 (之) 頤醫 (之) 取耳 (之) 痲非 (微合) 尉為 (微合) 尉為 (微合) 倬章 (微合) 胆諸 (魚) 且書 (魚) 響余 (魚) 與与 (魚) 鋪布 (模) 謨暮 (模) 響鼓 (模) 股古 (模) 鷹級 (模) 撫舞 (庚) 矩古 (庚) 謝主 (庚) 趣主 (庚) 戌主 (庚) 豎主 (庚) 羽雨 (庚) 吠貝 (廢) 喝登 (央) 制手制 (祭) 陛弊 (齊) 遞帝 (齊) 嘶西 (齊) 贅琴 (齊合) 稅歲 (齊合) 芮制 (齊合) 曬濟 (佳) 滌皆 (佳) 谷教 (痕) 續濱 (真) 刃神 (真) 盪巾 (真) 穰七 (質) 殞雲 (魂) 瞬噴 (諄) 巡噴 (諄) 殉噴 (諄) 峻旬 (諄) 贊印

- (諄) 遁頓 (魂) 倬發 (沒) 兀骨 (沒) 唄越 (沒) 帥年 (術) 幸一 (術) 昕年 (欣) 訖老 (迄) 健見 (元) 憶間 (元) 謔間 (仙) 賤仙 (仙) 延仙 (仙) 驚別 (諄) 繼節 (薛) 晚免 (元合) 次延 (仙合) 四訓 (月合) 彈單 (寒) 爛亂 (寒) 刪刪 (刪) 纏田 (仙) 鋌仙 (仙) 阡子 (先) 墳傳 (先) 竭結 (諄) 蕪滅 (屑) 完丸 (桓) 丸完 (桓) 倦券 (仙合) 眩券 (先合) 滑法 (黠合) 傳壽 (豪) 尻高 (豪) 錯告 (豪) 膠遠 (豪) 夫徒 (肴) 醜沙 (歌) 磋差 (歌) 燦末 (宵) 匠破 (支) 莎沙 (支) 亞阿 (麻) 栢栢 (麻) 肘方 (陽) 纏香 (陽) 臂薄 (鐸) 諾若 (鐸) 酪各 (鐸) 錯尺 (鐸) 鵲昔 (錯) 晃光 (唐合) 梗更 (庚) 晒丙 (庚) 躬行 (庚) 晃丙 (庚) 荊形 (庚) 頸經 (庚) 晴生 (庚) 戟客 (陌) 傾況 (清) 詭客 (陌合) 整正 (清) 最生 (清) 輕經 (青) 稜白 (麦) 隔葦 (支合) 擊客 (錫) 叩候 (侯) 醜主 (尤) 臭主 (尤) 敕主 (尤) 狩守 (尤) 售越 (尤) 宥有 (尤) 岑心 (侵) 朕沈 (侵) 闇暗 (覃) 鹹欠 (咸) 詔點 (端) 紗參 (銜) 織占 (塩) 慶厭 (塩) 懔帖 (帖) 映攝 (葉) 接攝 (葉) 葡萄福 (德) 陟劫 (職) 眩洪 (登)

○印を加えたものは図書寮本に一致するものである。

る。(ハ)印を加えた三例は凶書寮本では「冥音」として掲げられていたものであるが、これは観智院本の編者の引用の段階に於けるミスと考えられよう。他例は大旨現存の凶書寮本に無い部首に属するものであり、この様に現存の部分にある部首の漢字の注記が観智院本に一致する事は、この種の漢字一字の和音注は大旨全て凶書寮本の「真興」の和音注に通り得る事を示していると考えられる。

従って、観智院本に於ける和音注の形態上の相違一つつまり、この漢字注と片仮名注の相違一は、観智院本の編者が、引用書のものゝ形をそのまま残した部分が有った所に起因するものであつて、当時のそれそれの機能分担の相違一つまり、漢字で書いたものと片仮名で書いたものとに体系上の相違が有った、或いは漢字と片仮名とが別の音韻体系を反映する、等一を反映するものではないという事になるのである。

但し、凶書寮本まで遡ると、当然それが問題になる。そこで今この問題について考えてみる。まず、和音が漢字で表記されるか否かは、片仮名表記が容易であるかどうかに関係するであろう。その点から右の二百数条の例について見るに、支韻開口字、脂

韻開口字、之韻開口字、横韻字、虞韻字、等、仮名表記が容易になし得るものも多く漢字表記されてゐる。従つて、凶書寮本の段階に於ても、漢字表記と片仮名表記に分かれた契機は、必ずしも仮名で表記し難いものを類音字表記したのではなく、別の因を考へねばならないようである。凶書寮本の編述の際、真興の音注がそのあつたがままに引用されたと考えざる事は出来ない様である。もとの真興の表記では全てが漢字注であつたものを、片仮名に一部改変して引用した可能性も考へねばならない。真興の和音注の出典が三種以上に互るものであつた可能性も皆無ではなからう。従つて、今の所この問題をこれ以上振り下げる手掛りは見当らないようである。

ところで、凶書寮本で漢字注のものが観智院本で片仮名注になつてゐる例が僅かばかり見出される。

堵	真云斗 371	禾ト	651	濟	真云細 91	禾サイ	473
忽	真云效 349	禾ッ	679	訖	真云乞 99	禾キエ	530
埤	真云多 331	禾夕	647	詐	真云作 78	禾サ	539
壤	真城音 215	禾自マ	651	諺	真云妙 93	禾メウ	540
坎	真云欠 221	禾久	653	嶮	真云梭 143	禾玄	595

これを以て判断される事は、観智院本で漢字注のもの凶書寮本系相本で漢字注であつたものをそのま

未引用したものであるが、観智院本で片仮名へ「自ヤウ」の様の一部に漢字を交用するものも多む一であるものは、函書寮本系祖本の漢字注を改変したのも含まれている、という事である。

(口)片仮名表記の体系

既に述べて来た所で明らか如く、観智院本和音は、類音字を交用する片仮名表記の方向に統一される傾向が顕著である。

その統一の方向として最も顕著なものは、拗音と濁音の類音字表記という方向である。例えば、陽韻開口字、葉韻開口字、及び鐸韻の齒音字は、函書寮本では全て「シヤク」「シヤウ」と表記されているに對し、観智院本では「上シヤウ」一例を除き、いざれもその拗音部が「者」「謝」という類音字で表記されているのである。

そこで、ここでは、その様な観智院本に於ける、類音字の位置を明らかにしておくことにする。

以下にその用例を示す(举例) は、唇音、舌音、牙音、齒音、喉音、半舌音、半齒音の順に分類表に出現する順序に列挙した。

- 「復」豊復ウ、奉復ウ、分復ン
- 「鼻」鼻鼻ニ、貧鼻ン

「慕」令瓦慕ン

「部」佛部ツ

「土」童エウ、動エウ、撞エウ、銳エニ、曇エム、特エク

「地」重地ウ、除地ヨ、住地キ、直地キ、(「地音」は高山寺本三宝類字抄には「又音地エ250」とあるから、「ユ」を「音」の略字と誤解して正字体に直してしまつたものであるウ)

「太」堤太イ、吹太ム

「墮」臺墮イ、段墮ニ、道墮ウ

「茶」鐸茶ク、擲茶ク

「昇」窮具ウ、紅具ウ、共具ウ、軍具ニ、群具ニ、卧具ワ、弘具ウ

「我」降我ウ、擗我ク、妓我イ、駭我イ、崖我イ、嗟我イ、富我イ、告我ウ、豪我ウ、剛我ウ、含我ム、合我フ、恒我ウ

「火」横火イ、魁火イ、絰火イ、勸火ニ、官火ニ、卷火ニ、歡火ニ、喚火ニ、煥火ニ、桓火ニ、光火ウ、廣火ウ、曠火ウ、郭火ク、礪火ウ、鑛火ウ

「後」勤後ニ、欣後ニ、言後ニ、獻後ム、業後フ、恒後ウ

「後」勤後ニ、欣後ニ、言後ニ、獻後ム、業後フ、恒後ウ

〔吾〕近音ム、最音ム

〔五〕權ユン、極五ク

〔下〕限下ン、願下ン、賢下ン、巧下ウ、威下ム、

驗下ム

〔化〕券化ン、缺化子、喧化ニ、黜化ニ、橫化ン、

閑化ニ、眷化ニ、蠟化ン、倦化ニ、緩化ニ、

銜化ニ、穴化子

〔訛〕願訛ム

〔義〕及義フ

〔外〕源外ン、原外ニ、還外ニ、患外ニ

〔主〕肅まク、宗主ウ、種主ウ、從主ウ

〔左〕草左ウ

〔者〕裝者ウ、疰者ウ、壯者ウ、章者ウ、障者ウ、

韜者ウ、將者ウ、唱者ウ、床者ウ、牆者ウ、

賞者ウ、尚者ウ、詳者ウ、擊者ク、斫者ク、

錯者ク、綽者ク、嚼者ク、精者ウ、請者ウ、

生者ウ、借者ウ、籍者ウ、藉者ウ、正者ウ、

政者ウ、青者ウ、聲者ウ、聖者ウ、屋者ウ、

責者ク、赤者ク

〔壽〕充壽ウ

〔謝〕常謝ウ、情謝ウ、辭謝ウ、讓謝ウ、狀謝ウ、

諍謝ウ、益謝ウ

〔所〕慄所ウ、證所ウ、稱所ウ、經所ウ、升所ウ、

昇所ウ、陞所ウ

〔序〕承序ウ

〔受〕訟受ウ、頌受ウ、村受ニ、旬受ニ、順受ニ、

楯受ニ、徇受ニ

〔自〕助自ヨ、盡自ニ、臣自ニ、蛇自ヤ、壞自ヤウ、

〔坐〕哉坐イ、賊坐イ、戈坐イ、齊坐イ、摧坐イ、

〔是〕箭是ニ、全是ニ、前是ニ、先是ニ

〔作〕察作ナ

扱、詳細は省略するが、右の諸字は、左の三分類

が可能である。

○濁音表示の為に使用されたもの。

鼻(ビ)、部(ブ)、復(ブ)、蒸(ボ)、陸(

ダ)、太(タ)、地(ヂ)、土(ド)、我(ガ)、

義(ギ)、具(ゲ)、下(ゲ)、五(ゴ)、吾(

ゴ)、坐(サ)、自(ジ)、是(ゼ)

○拗音表示の為に使用されたもの。

茶(チャ)、火(クワン)、化(クヰ)、者(シヤ)

主(シユ)、所(シヨ)

○濁音と拗音とを同時に表示する為に使用されたも

の。

外(カエ)、訛(ゲエ)、謝(シヤ)、受(シユ)

六五

壽(ジユ)、序(ジヨ)

この他に、「佐」「作」が一例ずつ見出されるが、この二字が使用された意図は不明である。圖書寮本には「醫真云衣伊」の如く万葉仮名注が有るから、この様なまじ万葉仮名であつたものの跟踪と考へられぬかも知れない。

ところで、右の類音字の使用法に於いて特徴的な事は、必ず片仮名と交用されるといふ点である。例えは「者」についてみれば、

① 差^{シヤ}、磋^サ、淡^{タン}、等

② 装^ウ、章^ウ、研^ウ、等

の様に、「シヤ」で当該和音の音形が完結するものの場合には「者」は使用されないのであつて、「者」が使用されるのは当該和音の一部分の表記に当てられて、必ず片仮名を補つて完結するものの場合なのである。この事は①②③全てに亘つて言ひ得る。例外となるのは「主」「受」であつて、これは

④ 宗^ム、種^ム、從^ム、の他に

⑤ 澗^ミ、趣^ミ、戾^ミ、豎^ミ、醜^ミ、臭^ミ

387 叙^ミ

があり

⑥ 訟^ウ、頌^ウ、村^ウ、等

の他に

⑦ 澗^ミ

があつて、必ずしも片仮名と交用される場合に限りてはいない。しかしこれ等は、圖書寮本と比較してみると、圖書寮本での形をそのまま引用した(1)漢字一字の類音字、に当る(「受」については、圖書寮本に「澗真云受」)とあり、「主」の中にも「澗真云主」と一致するものがある)と見てよいものと考えられる。

かくして、右に取り挙げた諸類音字は、(1)に示したものと基本的性格を異にし、「和音」の音形の一部を表記する準仮名として使用されたものであつて、類音字の機能は「濁音」及び「拗音」の表示に有つたと考えられるのである。だからこそ、この種の類音字は片仮名との交用を原則としてゐるのである。

い補助符号「レ」について

圖書寮本名義抄の「真興」の和音注にも「レ」が使用されている事はよく知られているが、それが語頭に加えられる場合は和音で大旨濁音とびる字、語尾に加えられる場合は撥音韻尾である字、である事に依つて、「レ」は鼻音性を表わす符号^レと

も、或いは、仮名通りの発音ではないという意味の注意^(注3)と、たととも説かれてゐる。観智院本に於けるこの符号の使われ方も本質的には圖書寮本の場合と同じであつたと考えられるから、その機能も引きつゞき受け継がれてゐると考えてよい。

但し、圖書寮本と観智院本とを比較してみると、

紅真云クヅ⁵⁹¹ | 赤真ウ⁵⁹¹ | 濁真云クヨク⁵⁹¹ | 赤子ヨク⁵⁹¹

濁真云ケ⁵⁹¹ | 赤真ウ⁵⁹¹ | 濁真云ク⁵⁹¹ | 赤ホウ⁵⁹¹

濁真云ゾ⁵⁹¹ | 赤真ウ⁵⁹¹ | 濁真云ク⁵⁹¹ | 赤ホウ⁵⁹¹

の如く、観智院本でこの符号が落ちてゐるものがある。これは、この面に於いても観智院本の態度が機械的な引用でない事を示すものであるが、特に、初めの「紅」「濁」に於ける両者の相違は、明らかに観智院本の編者が濁音表示法として別の方法に改めた事に起因する相違である。圖書寮本で使用されてゐたかゝつた濁音専用の類音字注記法を導入する事に依つて、「レ」符号の使用される回数が、観智院本では全体として減少してゐると言えるのである。尚、この「紅」「濁」の両本の対応の仕方によつて、「レ」符号が語頭に有る場合は清音でなくそれに對立する濁音を表示するし、しである事がはつきりする。

尚、ちなみに付言しておけば、観智院本の「レ」符号には誤字が多い(例えば「遊」⁵⁹¹は「ゼ」の誤り、等)と考えられるから、処理に當つては正しい形に復元する必要がある。

(二) 声点について

観智院本の声点には、声調表示の爲の単点と濁音符として機能する複点とが使用されてゐる。

声調表示の単点には部分差声(例えば「カイ」「ケン」の如く最下午の仮名のみに加ふされたもの)が多いのが特徴である。この方式は先行の圖書寮本の和音注に既に見られるものである。

複点も亦圖書寮本で濁音符として使用されてゐる事は言うまでもない。

叔、以上の(四)(二)各項に亘つて概観した観智院本名義抄の和音の表記体系(先行の圖書寮本の表記をそのまま受け継ぐ面も有り、亦圖書寮本に對しての独自の表記法も必ずしも徹底してゐない)といふ点で、体系という術語は必ずしも適當ではないが、観智院本の編者が統一しようとしたもの、乃至は志向したと推定可能なもの、を考ふるには、「濁音及び拗音を表わす類音字」を交用する片仮名表記体系で

であつたと言ふ事が出来る。これに、喉内撥音「レ」を
表わす「レ」美、及び濁音「レ」を表わす複声「レ」と「レ」
とが、その表記体系のちぎれを埋めるものとして
先行文献（原撰本系名義抄）から踏襲されたと言え
る。

〔注〕

1 「圖書寮本類聚名義抄」真興音（和音）論続貂

（「国語と国文学」昭和五十二年十月号）。

2 吉田金彦「類聚名義抄にみえる和音注について」

（「国語学」第六輯）。

3 渡辺修「類聚名義抄の和音の性格」（「大妻女子

大学紀要」第一集）。

4 語尾にあるものは「レ」の表示が語頭にあるものは濁

音のしるしと解釈して、その解釈が不可能なのは

は模韻影母字の「烏ヅ」尤韻影母字の「憂ヅ」

である。「レ」を除けば、語頭に「レ」が有れば、

誤卓の例を除いて、それは濁音であつたと解釈出来

るものである。

三分韻表（稿）

（韻鏡に示される韻目に従い、唇、舌、牙、齒、喉、
半舌、半齒音の声母順に掲げる。上去声は平声に

収める。表記上の明らかな誤りは正した。所在は
風間書房版の頁数である。）

東直…蒙 69、炯 411、童 560、動 891、洞 106、

痛 709、蛤 128、空 314、孔 994、捲 325、

ウ 411、蛇 128、空 314、孔 994、捲 325、

聡 111、叢 150、送 199、紅 911、瀧 325、

ウ 1182、龍 1109、弄 429、

屋直…木 342、鬮 265、哭 197、族 1086、

速 1068、暴 21、

東拗…風 1251、諷 531、豊 復 563、中 99、

虫 1045、宮 812、子 1099、窟 320、終 325、

ウ 709、衆 1062、充 420、雄 1189、

屋直…腹 234、複 780、復 563、睦 185、竹

チ 1011、畜 228、逐 1091、戚 1096、

闊 832、縮 1021、叔 1309、蕭 1303、

宿 242、育 242、肉 228、條 26、

冬…宗 809、

決… 24、鶴 1168、

鐘…峯 571、奉 復 428、塚 655、重 719、恭 719、

ウ 916、拱 317、供 47、恐 683、共 688、

ウ 430、鐘 1034、種 1015、從 60、棟 688、

訟 575、頌 291、離 869、擁 333、

凶ク分 1308 消ク分 242 涌又平 507 容ヨウ 二方 806

踊用 556 用ユウ又ヨウ 252 備又ヨウ 35 龍リ 1274

燭 曲コク 1290 燭ソク 446 囁ソク 176 備ソク 241 粟

ソク 993 屐ソク 846 欲ヨク 1105 慾ヨク 697 緑口

ク 931 辱ニク 865

江 撞土ウ 323 江カアウ 409 講カラウ 525 窓ノウ 816

陣ウ 636 巷向 917

覽 刺薄 916 電ハクハウ 814 貌ミヤク 914 卓宅 104 斷

夕ク 1090 啄託 157 濁子ヨク 509 敷ソク 111 望キ

ク 895

支 彼ヒ 59 卑平 227 痺卑 874 韓ヒ 1129 披平 310 啓

ヒ 540 被ヒ 912 避ヒ 76 婢ヒ 129 靡ヒ 860 彌ヒ

1081 弭ヒ 1681 知子 1089 智子イ 218 躑子 1288 袴子

744 捉ニ 301 枳キ 353 寄キ 808 綺キ 930 奇キ 560

伎キ 128 祇キ 958 宜干 812 義キ 434 紫シ 931 積

シ 921 紫之 534 紫膏之 270 此シ 1269 刺シ 1001 賜シ

280 是セ 222 戲ケ 1098 移イ 926 易又イ 206 離リ

1192 児ニ 411 尔ニ 1059 紫紫膏シ 193

支合 規キ 198 穴類キ 811 越ク 490 危ク 494 偽ク

平又濁 40 撞スイ 318 吹スイ 115 揣シ 311 紫膏之

270 體スイ又平 266 垂スイ又シ 995 睡スイ 180 瑞スイ 616 隨スイ 635 委平 131 萎平 938 志イ 681

搗 鬼 324 毀ク 411 言 1294 累ルイ 914

脂 悲ヒ 695 轡上 176 袂上 963 秋上 766 鄙上 623 圮

ヒ 641 備ヒイ 55 賦ヒイ 227 鼻ヒ 145 美ミ 433

鬼ミ 1248 穴棘ミ 802 致子 1117 絳平 716 絳同 913 地

子 644 尼ニ 843 飢ケ 1019 觀裏 158 器キ 161 奔キ

427 棄キ 368 至シ 95 志シ 646 次シ 1102 師シ 1302

屎シ 840 屍去 817 死シ 48 視シ 764 嗜志 144 伊イ

53 漬イ 445 煮イ 1307 履リ 847 利リ 1002 臍ニ

230 汁又ニシ 102

脂合 追ツイ 93 墜ツイ 638 龜息 1249 愧ク 49 推スイ 310

置ク 411 揆鬼又キ 320 醉スイ 1263 推スイ 310 翠ヘヒ スイ 1004 穎又平 286 悴スイ 685 衰スイ

944 水スイ 449 雖スイ 1110 遂スイ 68 誰スイ 519

遂去又平 99 位 423 惟ユイ 684 類ルイ 290

之 置子 214 置子 1066 癡子 883 持子 311 値子 45

基キ 662 紀キ 916 記キ 535 欺ゴ 1105 起キ 86 其

コウ 429 疑キ 1300 之シ 998 志シ 674 滋又去 483

子シ 893 喰シ 168 齒シ 570 熾シ 454 事シ 100 慈

シ 645 字シ 896 使シ 51 始シ 138 殺又シ 1122 伺平

28 思シ 647 時シ 202 恃シ 677 寺シ 817 似シ

25 意イ 672 喜キ 128 燻キイ 454 憑基 431 似シ

喜キ 155、笑イ 1089、以イ 24、異イ 430、頤醫 286、而

微 讒キ 524、既キ 424、豈キ 590、氣ノ 1311、非 842、非ヒ 1286、誹ヒ 539、一匪ヒ 82、妃上 123、

未、非 373、歸ノ 566、鬼ノ 1247、貴ノ 216、魏ク 519、魏ノ 1250、尉ノ 900、尉ノ 441、并ノ 103、953、塵ノ 872、偉ノ 46、葦平去 919、

癢合

吠ハイ貝 147、穢ワイ 711、猪チヨ 388、著(子マク)チヨ 945、除地ヨ 640、竝チヨ 559、女ニヨ 122、居コ 845、攀コ 319、去コ 104、渠コ 384、炬コ 450、魚キヨ又コウ 1201、鮫同又去 1205、語

コ 525、御コオ 59、諸シヨ 533、詛シヨ 532、渚シヨ 444、且書 192、初シヨ 914、楚ソ 387、杵シヨ 368、處 853、疽ソシヨ 810、胆路 232、且自ヨ 989、所シヨ 819、

疏シヨ 557、書シヨ 205、舒シオ 1302、暑シヨ 204、置シヨ 450、鼠シヨ或ソ 1242、序シヨ 860、於オ 1086、虚

コオ 850、許コ 529、餘天 1017、譽系 536、與与 429、預 286、豫 1093、驢口 1165、栢リヨ 352、侶リヨ又口 22、虞リヨ或平 851、依同 1086、汝ニヨ 510、如ニヨ 122、

模 布ノ 706、鋪布 1035、怖フ 690、蒲フ 926、捕フ 377、歩フ 565

謨 著 519、慕ホ 910、都ト 632、親平 199、堵ト 651、屠

卜 845、度同 861、奴又 129、古コ 105、盡コ 1239、警款 182、鼓夕 1124、股古 268、枯去 363、苦ク 914、庫同 860、

嬖コ 1218、悟コオ 696、娛ノ 31ニ音 151、祖ソ 763、厝 864、醋ノ 1260、鹿鹿 866、換去 926、惡ヲ 671、汚ノ 470、鳥ウ 1188、呼コ 169、虎コ 851、狐去 388、乎コ 101、

虞

戸去 848、估コ 644、護コオ 519、互コ 95、盧口ル 850、適口リヨ 51、附フ 544、付平 27、膚フ 224、敷同 111、撫舞 337、赴

フ 85、計フ 529、父フ 1106、齋フ 248、附フ 642、無ノ 455、鴛又フ 1193、舞フ 1307、註チユ 527、住地音 23、

注(シユ)チユ 502、注チウ 503、拘ク 324、矩古 1089、衢 又去 63、瞿ク 184、窳コ 821、具ク 194、懼ク 668、

愚ク 696、娛グ(ゴ)ニ音 131、遇同 77、注シユ(チユ) 502、趣注 89、聚シユ 1062、數シユ 111、輪同 1144、成主 1095、

須シユ 290、豎主 558、樹シユ 312、封爰主 444、偃ク 51、于リ 103、羽雨 1005、雨ウ 821、喻ユ 143、濡又去 471、窶禾反(クカ) 803、

倍ハイヘ 23、載夕イ 1098、胎夕イ 249、臺陸イ 1270、待夕イ 62、怠平 675、逮夕イ 66、乃ナイ 1308、姦我

イ 130、慨カイ 646、導ケエ 218、礙ケ 598、閔ケ 832、導ケ 900、哉坐イ 1049、裁サイ 1099、定サイ 444、裁サ

イ 367 精サ イ 393 彩サ イ 292 賤サ イ 274 女サ イ
1313 哀ア イ 733 震ア イ 828 海カ イ 469 來ラ イ 1281
疎ラ イ 190

皆 啼タイ 146 皆カ イ 216 界カ イ 223 疥ケ 822 駭
我イ 1155 械カ イ 354
夫 喝(西) 168

祭 滯タイ 507 傷ケ 44 制セ イ 795 制セ イ 1003 製同
746 製セ イ 1003 御制或平 302 執方平 191 遊セ イ 777
哲セ イ 540 蔽ハ イ 934 蔽ハ イ 427 曳ハ イ 1044 拭子 311 高エ イ 739

齊 閉ハ イ (ハナ) 831 陛ハ イ 636 陛 230 迷メ イ 65 米マ
イ 785 帝タイ (ホナシ) 698 伍テ イ 32 底テ イ 836
梯又去 366 體タイ 106 體タイ 265 剃テ イ 101 添
テ イ 495 提太イ 338 弟テ イ テエ 432 弟タイ 983

遊 帝タイ 73 望ナ イ テイ 649 雞ケ イ 1192 繼同 709
駭又ケ イ 297 谿ケ イ 435 谿ケ イ 1300 稽ケ 1265 啓
ケ イ 156 妻サ イ 294 齊サ イ 473 (叱サ イ 149) 妻サ
イ 122 齊坐イ 或サ イ 795 齧サ イ 571 洗セ イ (セシ)

471 細サ イ 719 嘸西 168 嘸去 211 盪ケ イ 1257 鼠
ケ イ 1242 犁シ イ 405 礼ラ イ 448 764 辰ラ イ 849 隸
同 1276

灰 西ハ イ 1297 每マイ 1289 攻マイ 617 堆ツイ 648 抛
ツイ 318 對タイ 900 退少イ 68 推又タイ 330 頰

夕イ 290 内ナ イ 又イ 1309 憤火イ 691 魁クエ 或火イ 1248
推坐イ 330 罪サ イ 1067 碎サ イ 603 碎サ イ 607 灰
クエ 450 悔クエ 640 誨クエ 540 璉エ 617 週エ 71
雷同 822

皆合 拜ハ イ 303 性クエ 670 壞エ 661
夫合 敗ハ イ 114 唄ハ イ 151 遮マ イ 74 快クエ 688
祭合 贊勢 275 統歳 779 衛エ 63 芮制 918 觸テ イ 1225

齊合 桂同 355 惠エ 665 葦サ イ 565 背(背) 子 235
泰 味又平 217 帶タイ 105 泰夕イ 1295 1311 大久イ 435 榛
ナイ 391 蓋カ イ 1011 富我イ 808 癩ラ イ 872

佳 佳クエケイ 23 賈マ イ 276 懈ケ 697 崖我イ 599 嗟
我イ 169 叱サ イ 149 齒サ イ 573 曬清 209 隘ア イ
638 解ケ 269 避皆 69

泰合 外クエ 890 最サ イ 217 寂サ イ 810 會エ 1058
佳合 賈マ イ 276 聖クエ 1065 喞クワ 154 絳火イクエ
923

痕 吞鼓 174 恩ラン 667
没 夢 275 余 73
櫛 琴七 620

真 寶ヒン 801 擯ヒム 307 鬢鼻 298 續寶 70 負鼻
> 280 頻 平又去 283 敏ミンヒン 111 懸ミン 696
汎ミン 474 珍去 615 緊ミン 721 銀コン 1021 器ギ

ン 162 珍シム 245 震シム 825 瞞シム 192 観枕シ
 臣自ン 1275 慎シム 679 困イン 841 印平 101 氤又
 エン 1312 豊キシ 184 引イン 100
 引イン 1080 鄰去 632 隣リン 642 怯リム 670 忍ニ
 ン 678 刃神シムニ 1002
 質 必ヒナ 433 桿ヒナ 385 正ヒナ 84 密ミナ 806 吉
 キナ 163 質セナ 219 實シナ 809 逸イナ 69 栗リ
 ナ 375 日ニナ 201

魂 奔ホシ 497 奔ホム 439 本ホシ 393 金フム 650 金瓦
 菓ン 1097 門モン 830 悶モン 836 頓平 283 遁娘 72
 鈍エン 1031 困コン 894 村又後シ 353 付ソシ 668
 存ソシ 104 躡ソシ 544 損ソム 333 温ウン 483 7温
 ヲ雲 886 論ロン 536
 没 悖發 677 窵クツツ 814 頓コナ 285 兀骨 419 卒
 ソナ 103 卒ソナ 935 嗚ウラレ 越ニ 159 忽コツ 679
 諄 瞬 161 峻旬 574 順受ン 285 楯多シ 369 巡順 97
 旬受ン 主シ 84 徇受ン 29 殉噴 885 贅印 208 倫

術 出主ツ 1283 率ソナ 103 帥ナ 1362 聿一又平ナ 101
 律リナ 56
 般 筋コン 952 勤後シ 989 近吾ム 80 勉或去 678 般

文 糞フシ 793 奮フシ 439 紛フシ 713 氛フシ 1311 飭
 フシ 1301 焚ホシ 441 分後シ 431 問モシ 838 軍具
 ン 812 群具シ 1153 熏クシ 453 訓クニ 529
 物 弗ホツ 1268 佛部ツ 21 物モナ 410 屈クツ 844 敷
 コナ 101
 山 袒タン 737 間ケン 832 艱カム 1366 堅ケン 697 眼
 ケム 179 展野セン 843 辨セン 1294 山セン 514 産セ
 ム 560 閑ケン 831 限下シ 642
 鐘 刺セナ 1091 擦サナ 373
 元 捷ケン 318 建コン 82 鍵ケン 1025 健見又去コン
 言後シ 515 軒コンケン或カシ 142 獻後ム 369
 憶問 701

月 歌又カナ 101
 仙 鞭ベン 1130 辨ハム 1265 便ハシ又平ヒム 50 免メン
 420 洩メン 411 面メン 568 展チンテム 877 縹田
 721 甄ケン 1074 寔馬ケン 803 遠ケン 76 遠問
 522 海セン 1084 戰セン 1095 箭是シ 911 關セム 831
 遷セン 66 淺セム 475 賤仙 280 甚マニ 1317 銓仙
 102 禪是シ 764 善是シ 172 延エン 1221 延エン 82
 演エン 477 連去又平 76 葦草レン 1140 然シ 459

イシ 1122 總オシ 608 炊後シ 1105 昕介 211
 込 訖キ去 520 乞コツ 1311
 文 糞フシ 793 奮フシ 439 紛フシ 713 氛フシ 1311 飭
 フシ 1301 焚ホシ 441 分後シ 431 問モシ 838 軍具
 ン 812 群具シ 1153 熏クシ 453 訓クニ 529
 物 弗ホツ 1268 佛部ツ 21 物モナ 410 屈クツ 844 敷
 コナ 101
 山 袒タン 737 間ケン 832 艱カム 1366 堅ケン 697 眼
 ケム 179 展野セン 843 辨セン 1294 山セン 514 産セ
 ム 560 閑ケン 831 限下シ 642
 鐘 刺セナ 1091 擦サナ 373
 元 捷ケン 318 建コン 82 鍵ケン 1025 健見又去コン
 言後シ 515 軒コンケン或カシ 142 獻後ム 369
 憶問 701

刪合ハ慢又シ 690、關化シ 831、思遠 外ニ 70、思

外ニ 658

點合ハ八ハ子 430、滑治 497

先合ハ邊ヘン 65、蠟化シ 1266、眩券 192、伎又ルシ 63、

肩合ハ穴化子 814

豪ハ寶木ウ 801、保ホホウ 53、報ホウ 1283、瀑ホウ 503、

暴ホオ 211、毛モウ 1008、刀夕ウ 993、擣又去 333、擣

同 159、討夕ウ 529、逃テウ 77、擣等 45、道墜ウ 64

稻夕ウ 766、導ダウ 899、盜同 1070、惱ナウ 698、高カ

ウ 799、告我ウ 177、稿去 363、尻高 845、槽サウ 986、

早平 492、草左ウ 909、造サウ 78、掃去 305、膝遭 230、

奥アウ 439、好平 130、豪我ウ 416、嗶カフ 188、暗告 210、

号カウ 153、勞ラウ 991、膝(膝)遭 230

肴ハ飽ハウ 1020、豹ヘウ 413、疔ハウ 870、替メウ 1303、

貌メウ 413、鏡ネウ 1039、肉ネウ 105、夷ネウ 54、肉

繞 1309、開ネウ 887、教ケウ 1110、技ケウ 310、巧下ウ

1304、樂ケウ 308、窠巢サウ 821、抄セウ 330、菓サウ 380、

宵ハ表ヘウ 733、廟メウ 839、超テウ 86、潮同 492、搞ケ

ウ 340、惱ケウ 690、矯去 1088、詔平 528、燒セウ 444、

大工ウ 439、療シウ(ホトシ) 872、饒ネウ 1012、燒ネウ

139、繞ネウ 925、燥表 451、眇メウ 189、妙メウ 122、

翹去 1003、愁登エウ 1040、樵セウ 684、小セウ 664、咲セウ 149、

笑セウ 908、粟エウ 139、腓エウ 281、遙エウ 67、

耀エウ 426

歌ハ多夕 891、頰夕 286、他夕 52、駝夕 1156、陸夕 639、馱

夕 1156、那ナ 632、歌去 1104、哥カ 98、珂カ 611、可カ

96、我カ 1098、餓カ 1018、左サ 104、佐サ 41、佐サ

(サク) 53、蹠シヤ 548、蹠サ 612、蹠差又サ 608、蹠

沙 1258、沙シヤ 139、阿ア 634、訶カ 519、何カ 28、河

又カ 469、荷カ 914、邏ラ 65、

戈ハ波ハ 488、跋ハ 543、跋ハ 1129、破ハ 607、匹破 84、婆

ハ 139、摩マ 839、魔マ 860、磨マ 839、捶夕 619、墜夕

681、過ク 777、臥具フ 504、姦サ 1088、坐サ 663、

莎沙 909、汚フ 440、火ク 440、貨ク 274、和ワ 718、

禍平 759、裸ヌラ 733

麻直ハ把ハ 300、馬メ 1154、叱夕 155、家ケ 808、加馬カ 1168、

價ケ 40、假ケ 53、佞カ 37、伽カ 27、牙ゲ 94、雅

ゲ 1191、擻シヤ 320、詐サ 529、又シヤ 1107、差シヤ 432、

沙シヤ 446、灑シヤ 503、唾ア 159、瘥ア 878、垂阿 1323、

麻拗ハ遮シヤ 78、柘拈 364、車シヤ 1139、蛇自ヤ 1216、射

シヤ 108、舍シヤ 1057、闍シヤ 835、社シヤ 760、寫

シヤ 211、斜シヤ 897、耶ヤヌシヤ 119、野平 1360、世ヤ

488 夜ヤ 916 邪ナシ 632 若又ニヤ 955

麻合 膏クワ 或濁 801 瓦クワ 1093 化クエ 52

唐 謗ハウ 530 蟒マヅ 1226 黨タウ 441 當タウ 226 僮

平 湯去 501 堂タウ 646 禳ナウ 139 剛ガウ 1002

糠カウ 788 倉サウ 或坐ウ 1058 藏坐ウ 941 喪サウ

鐸 105 狼ラウ 388 浪ラウ 488

鐸 骨薄 266 搏ハク 331 薄ハク 937 莫マク 910 幕

マク 104 鐸茶ク 1044 諾若 519 駱各 237 作ガサク

53 鑿又者ク 1044 錯者ク 尺 1034 惡アウ(又シ) 691

鑿カク 658 樂ラク 315

陽 方ハウ 木ウ 1086 肪方 229 放ハウ 1087 航去 262 訪

ハウ 524 房ハウ 849 防去平 642 望マウ 620 網マ

ウ 717 輞マウ 1149 魄マウ 1248 忘マウ 666 張ナヤ

シ 1082 帳チヤウ 701 帳チヤウ 689 長ナマウ 293

丈チヤウ 1109 儘カウ 41 儘カウ 662 儘カウ 1300

強カウ 1080 仰カウ 30 裝者ウ 749 莊者ウ 883 壯

者ウ 664 章者ウ 559 爪サウ 1062 障者ウ 643 鄣者

ウ 633 將者ウ 412 瘡サウ 876 瘡サウ 884 唱者ウ

160 床者ウ 862 狀謝ウ 389 牆者ウ 412 喬去 645

賞者ウ 280 想サウ 694 相サウ 192 常謝ウ 698 上

シヤウ 94 尚者ウ 1299 詳者ウ 524 象サウ 433 香

カウ 783 響カウ 561 向カウ 796 養ヤウ 1020 量リ

マウ 204 涼同 505 涼リヤウ 54 良ラウ 796 涼去

355 兩リヤウ 828 懸リヤウ 1248 壞自ヤウ 651 讓

謝ウ 525

葉 縛ハク 730 著子マク(子) 945 脚カク 或キマク

248 却キヤク 1310 斫者ク 599 綽者ク 721 鵲昔 1174

嚼者ク 141 鎗ヤク 1049 略リヤク 223 弱ニヤク 1086

弱ニヤク 1310

唐合 光火ウ 440 廣火ウ 855 曠火ウ 204 晃光 203 惶

或平 690

鐸合 郭火ク 633

陽合 誑キワウ 528 狂ワウ 397 況クキヤウ 51 況ク

キヤウ 514 往ワウ 57

庚直 猛ミヤウ 389 粳更 788 哽キアウ 169 更キヤウ 1117

坑キヤウ 645 行キヤウ 63 桁行 245 躡ヒヤウ 545

庚 劫ハ兵ヒヤウ 429 炳平 446 病ヒヤウ 869 明ミヤウ 203

命ミヤウ 1059 荊形 922 竟キヤウ 559 慶キヤウ 862 競キ

ヤウ 421 生者ウ 1291 映エイ アフ 207

陌直 百ヒヤク 96 迫ハク 69 怕ハク 615 陌ハク 641

垢チヤク 660 擇チヤク 334 澤同 509 客キヤク 86

額カク 282

陌 劫 載客 1097 劇キヤク 994 逆キヤク 99

清 并ニヒヤウ 429 名ミヤウ 194 貞チヤウ 544 騁チヤウ

157 頸經 284 迎ガウ 80 正者ウ 95 整正 1304 政
 者ウ 110 晴生 185 精者ウ 78 清シヤウ 491 請者
 ウ 521 情謝ウ 692 靜謝ウ 1299 淨シヤウ 491 聲者
 ウ 111 聖者ウ 121 盛謝ウ 1094 晟生 211 嬰ヤウ
 アウ 128 盈ヤウ 1069 嶺レイ 582
 昔 辟ヒヤク 1266 壁ヒヤクヘキ 616 擲茶ク 318 借者
 ク 40 赤者ク 104 符籍者ク 985 藉籍者ク 938 席者ク 862
 益ヤク 1068 亦ヤク 716
 庚合直 礦火ウ 598 鑛火ウ 1033 横ワウ 361
 庚合 柳 漿ヤウ 434 永ヤウ 791 詠回 クヤウ 540
 陌合直 誑又客 532
 清合 頌况 52 頃ク斗ヤウ 284
 昔合 疫ヤク 斗ヤク 892 役斗ヤウ 又ヤク 49
 耕 胡マウ 944 諍謝ウ 525 莖キヤウ 929 幸カウ 104
 麥 糜白 392 隔菓又客 638 責者ク 276 厄ヤク 865
 麥合 獲キヤク 390
 青 傳ヒヤウ 35 瓶ヒヤウ 1093 並ヒヤウ 433 冥シヤウ
 812 聰キヤウ 119 定キヤウ 808 寧キヤウ 282 逕
 キヤウ 74 經キヤウ 1107 徑キヤウ 43 輕經 1142
 馨キヤウ 526 青者ウ 254 屋者ウ 202 醒 又平 1258
 形ギヤウ 291 伶リヤウ 35 冷リヤウ 448 靈リヤウ 822
 錫 兎ミヤク 198 笛キヤク 988 敲キヤク 1105 敲キヤク 1111

敲キヤク 1122 擊客 303 感定 (シクシヤク 1096 寂シヤク
 81 歷リヤク 865
 青合 迫ク斗ヤウ 又向 11
 侯 休フ 29 部フ 633 母モ 137 某ム 343 質ム 215 兜
 ト 421 偷チウ 36 銜チウ 1040 投又トウ 337 兜又
 421 句 815 溝去 510 垢ク 664 狗ク 388 構平 311
 ロク 142 叩ク 158 叩候 158 走ソウ 84 敷ソウ 922
 嘔ウ 又ウ 152 歐ウ 又ウ 1105 吼ク 198 喉コウ 190
 厚カウ 814 後ゴオ 58 樓ロウ 354 體(下)ロ 265
 涌ロ 490 陋ル 642 擗ロ 874
 尤 不フ 99 富フ 810 婦フ 138 阜平 633 負平 297 復
 フ(フ) 58 浮フ 413 牟ム 405 梓ム 384 銖又ム 1033 書
 チウ 98 惆チウ(ヘチヤウ) 689 杻チウ 371 畜チ
 ウク 228 綢チウ 780 籌去 970 胃チウ 233 曹チウ
 215 鳩 或平 1182 久ク 1308 九又去 422 救ク 115 丘
 グ 96 求グ 1308 咎ク 174 舊ク 956 牛ゴ 405 周シ
 ウ 1015 州シウ 1002 呢シウ 157 洒シウ 1256 魄主 1260
 臭シフ 195 臭主 389 秋シウ 169 就シウ 423 收平
 1108 牧主 116 狩守 389 獸平去 351 首シフ 442 信
 趣 1189 因シユ 842 憂ウ 1109 休ク 29 朽ク 319 有
 ウ 105 右ウ 104 宥有 803 祐イウ 158 又ウ 1106 由去 223 柔ニウ 366
 幽 緜メウ 715 謬メウ 540 幽エウ 1307 幼エウ 1002

侵品ホム 142、沈^シム 446、朕^シム 229、貨^ニム 574、ム 280

禁^平 763、欽^キム 1032、琴^キム 又コム 621、余^同 又コ

ム 1058、針^シム 1030、礮^又甘ム 608、侵^シム 49、岑^心

577、深^自ム 478、沈^シム 358、審^シム 84、甚^自ム 1282

尊^自ム 899、音^オム 561、瘡^オム 871、飲^オム 1020、林

リ^シ 386、姓^ニム 138

緝^及フ 1107、集^自フ 1011、遊^シフ 487、濕^シフ 485、廿

ニ^シフ 102、習^シフ 自フ 1007、邑^オフ 623、入^ニフ 1309

牽^身タム 107、耽^タム 121、負^トム 280、負^トム 1060、曇

土^ム 205、紺^コム 728、感^カム 1094、倉^龍 我^シ 1294、倉^龍 或

我^ム 1058、堪^カム 657、坎^カム 653、聞^アム 又オム 又暗⁸³⁹

合^我ム 1057

合^躡フ 541、納^ナフ 107、巾^フ 100、雜^坐フ 1143

颯^フ 1252、罨^アフ 1065、合^我フ 1057

咸^露テム 827、斬^セム 1148、菴^アム 924、咸^下ム 1096、鹹

欠¹²⁵⁷、減^ケム 501、陷^カム 639

洽^凹エフ 又糸¹³²³、洽^カフ 476、狹^ケフ 390

鹽^詔 點⁵²³、檢^ケム 313、驗^下 自¹¹⁶⁶、隆^平 181、整^セム 645、漸^セム

501、昔^セム 923、熾^セム 121、織^占 自¹⁰⁵、賤^セム 274、

廢^獸 860、厩^エム 861、罷^エム 397、峻^ケム 575、閤^エ

ム 834、塩^エム 669、燭^エム 450、區^古ホレム 83、斂^シ

ム 1112、淡^平 478

葉^轉テフ 1149、映^撰 185、接^撰 38、攝^セフ 377、葉

(エ)セフ 934、葉^エフ(セ) 934

添^括平 674、念^ネム 684、兼^ケム 432、謙^ケム 525、嫌^ケ

ム 128

帖^牒 689、薩^ケフ 976、協^同 678

談^塔タム 330、瘰^タム 870、墜^タム 674、噴^ホム 168、甘

カム 1282、敢^カム 1166、斬^生ム 692、暫^坐ム 208、斬^坐

ム 556、覽^平 200、藍^ラム 927

盞^鉦カフ 1033、鐵^ラフ 1022

銜^巖カム 582、衫^參 781

狎^甲カフ 223、噤^(噤)セフ 154、屨^エフ 649

嚴^嚴 吾^ム 154

業^却コク 997、性^カフ 675、業^後フ 954

凡^凡ホム 449、犯^ホム 389、梵^ホム 386、欠^カム 1100

乏^法ホム 449、乏^ホフ 796

登^崩ホム 578、朋^ホム 254、等^トウ 977、隆^平 636、能^ノ

ウ 1280、巨^コク 94、肯^コフ 235、增^ソム 662、僧^ソム

22、恒^我 後^ウ 696

德^北ホク 567、仆^ホク 27、菴^福 942、墨^モク 438、墨^玉

ク 664、德^トク 56、得^トク 57、特^エク 406、祓^コク

93、刻^コク 997、射^コク 900、賊^ソク 280、塞^ソク 663

黒^コク 457、勒^ロク 993

蒸 衿コウ 1092 證所ウ 525 緋所ウ 794 秤所ウ 764 緋

ソウ 701 升所ウ 890 昇所ウ 204 陸所ウ 637 承序

ウ 320 應オウ 859 纒コウ 430 陸去 637

職 通ヒケ 98 陟勅 642 勅チヨク 992 直地キ 104 丞ク

五ク 375 即ソク 130 食自キ 1012 息ソク 667 殖

登合 肱洪 251 弘具ウ 1083

徳合 國コク 840 惑ワク 1095

(原則として「禾」として示されたもののみを取上げてある。声変及びレ失にはずれと思われものも多く、一々につきやれどれが解散を必要とするが、右表では大旨原本通りに転記した)

八付記 原稿を小林芳規先生に御見通し頂き補正する事が出来た。一き記して謝意を表す次第である。

(55・2・25)

(未処理分)

鳥禾鬼 211 騰禾虫 239 252 豚禾夕イ 245 扶禾キフ 311

至禾声上窟 323 奕禾マク 446 毳禾 612 卸禾ク

ウ 631